

広報部会会員による 就業現場レポート(第10回)

この一筆に思いを込めて…「筆耕」

年賀状から招待状、賞状まで…パソコンで何でも簡単に印刷ができる現代。こんな時代だからこそ、丁寧に書き上げられた字は、受け取った人の心を「温かく」させてくれます。

“書くことが好き”初心を忘れず、日々の鍛錬に裏付けされた「確かな技術」と「自信」を武器に、今日も筆をしたためる筆耕グループの皆さんを取材しました。



就業内容

- 賞状全文筆耕 ● 賞状部分筆耕 ● 学位記及び卒業証書 ● 社用の封筒宛名書き
- 結婚式招待状の宛名書き ● 年始お札書き ● 木札ストラップ(イベント等)
- (その他) 筆で書けないものを除き、難しい依頼にも挑戦

過去の実績

木箱蓋の裏書き、過去帳、法名軸、家系図、命名色紙 など



◆ 筆耕の仕事のやりがい、印象に残っていること

一生に一度の卒業証書とか残るものを書かせていただくことがありがたいと思います。後輩のお孫さんの通う学校の証書を書くことがあり「あの時生まれた子がもう卒業か」と思いました。(依頼があるかわかりませんが) 近所の男の子の卒業証書を書きたいなと思います。

◆ 誰にも言えない、誰も知らない「隠れた喜び」。これまで書いた内容は心の中に

個人情報なので、書いたからと言っても極秘にして心にしまっています。とても偉い方の宛名書きの仕事をいただいた時は嬉しかったですね。でも周りに何を書いたかは言わないですね。小さなことですが、役に立っていると感じます。自分が書いたリボンを胸にしているスポーツ選手の映像を見て、数分でも「つけてくれていた」と思うし、人にはあまり言わないですが、なんとなく応援している気持ちになります。

◆ 「字」は日々の練習の成果。元々うまい人はいない

毎日何文字でもいいから紙に向かって練習ですね。自主研修会で習った先生は毎日400字書いているとおっしゃっていました。私はそこまで書けないけど、書かないと筆の調子、墨ののり方などがおかしくなる。字が汚いなんて人はいない。「私は字が汚い」と思っている人も、練習によって絶対上手になります。

◆ 23人の筆耕グループ。チームワークは？

新型コロナの影響で、2年ほど自主研修会が出来ませんでした。その間なかなか横のつながりが取れませんでした。決まり事を全て共有していないといけな。私が書いた宛名と他の人が書いた宛名の形式が違っていると商品になりません。その決まりごとの共有と練習の為、自主研修会を行っています。



月に1度の自主研修会の様子

◆ 最後に、この仕事(筆耕)に向いている人は？

細かいことに努力できる人。どなたにでも向いていると思います。
 落ち着いて出来る、夢中になれる人。しつこい人。(笑)
 (皆さんで少し盛り上がった後) 字を書くことが好きな人ですね！

筆耕とは聞きなれない言葉ではありますが、字をみるとなんとなくわかるようにも思えます。皆さんとお話しさせていただいているうちに、その意気込みに背筋が伸びて参りました。4人の経歴は少し違いますが、共通していることは字を書くことで人に喜んでいただき、皆さんも楽しいということでした。

悪筆は遺伝だと思い込んでいた筆者は「好きこそものの上手なれ」「練習あるのみ」の教訓が残りました。